



# RWS Language Cloud

セキュリティ

## 目次

はじめに.....	3
ISO 27001 とセキュリティ・バイ・デザイン.....	4
アプリケーションのセキュリティテスト.....	4
監査証跡.....	5
ログファイル.....	5
ユーザーアカウントのセキュリティ.....	7
一般データ保護規則 (GDPR).....	9
保存中の暗号化とセキュアプロジェクト.....	9
データセキュリティ.....	10
ウイルス対策ソフトウェア.....	10
ホスティング環境のセキュリティ.....	11



## はじめに

RWSでは、お客様の情報のセキュリティは最優先事項です。当社は人材、ポリシー、手順に支えられた最先端のテクノロジーを使用して、貴社のビジネスとデータを確実に保護します。

このホワイトペーパーでは、お客様がコンテンツを安心して処理および管理できる環境を実現するために、RWS® Language Cloud の開発やホストをどのように行っているのかを詳しくご説明します。この内容は、Trados® Enterprise、Trados® Team、Trados Studio® で提供されるクラウド機能などの RWS Language Cloud 搭載製品も対象となります。

## ISO 27001 とセキュリティ・バイ・デザイン

RWS Language Cloud の開発組織は ISO 27001 認定を取得しています。つまり、使用している設備、チーム、ポリシー、手順が、独立した外部査定人による定期的な監査を受けているということです。

製品の機能を開発する際、当社はセキュリティ第一で取り組みます。RWS Language Cloud では開発プロセスの一環として徹底したテストを行い、翻訳対象コンテンツやアプリケーションのユーザーに関するデータなど、処理対象となるデータにとって安全な環境を継続的に提供しています。



## アプリケーションのセキュリティテスト

当社はアプリケーションの厳格な脆弱性診断とペネトレーションテストを定期的に行っています。これには、ウェブアプリケーションセキュリティリスクの OWASP Top 10 に対するテストが必ず含まれます。また、年に一度、第三者機関と協力して外部の脆弱性およびペネトレーションテストを実行しています。高・クリティカルレベルの脆弱性は可能な限り速やかに修正し、中・低レベルの脆弱性は、リスクを考慮するか、妥当な期間内に修正します。

ペネトレーションテストと脆弱性テストに加え、すべてのアプリケーションのソースコードに対して SonarQube や Veracode による静的コード解析が実施されます。品質のしきい値に達していない場合は自動的にビルドに失敗するゲートや、脆弱性が見つかった場合は一連の監査可能なテストと再テストを提供するゲートがあります。



## 監査証跡

RWS Language Cloud では、アプリケーションで処理されたすべてのファイルについて完全な監査証跡が保持されます。予期しないセキュリティインシデントが発生した場合、管理者はワークフローの進行中にファイルの履歴を照会し、そのファイルで実行されたワークフロータスクとそのファイルにアクセスしたユーザーを特定することができます。

TASK DESCRIPTION	TASK NAME	DATE	FILE PATH	ASSIGNED	OWNER	LANGUAGES	STATUS	CREATED	COMPLETED
New York Hilton Midtown.docx	Target File Generation			0	0	US, FR, DE	COMPLETED	20 Sep 2022 19:11	21 Sep 2022 19:11
New York Hilton Midtown.docx	Language TGA	20 Sep 2022 20:00		0	0	US, FR, DE	COMPLETED	20 Sep 2022 19:00	21 Sep 2022 19:00
New York Hilton Midtown.docx	Translation	20 Sep 2022 19:00		0	0	US, FR, DE	COMPLETED	21 Sep 2022 19:08	
New York Hilton Midtown.docx	Translation	20 Sep 2022 19:00		0	0	US, FR, DE	COMPLETED	21 Sep 2022 19:08	21 Sep 2022 19:09
New York Hilton Midtown.docx	Customer Data Generation			0	0	US, FR, DE	COMPLETED	21 Sep 2022 19:08	21 Sep 2022 19:08
New York Hilton Midtown.docx	Analysis			0	0	US, FR, DE	COMPLETED	21 Sep 2022 19:07	21 Sep 2022 19:07
New York Hilton Midtown.docx	Analysis			0	0	US, FR, DE	COMPLETED	21 Sep 2022 19:07	21 Sep 2022 19:07
New York Hilton Midtown.docx	Project Content Analysis			0	0	US, FR, DE	COMPLETED	21 Sep 2022 19:07	21 Sep 2022 19:07
New York Hilton Midtown.docx	Machine Translation			0	0	US, FR, DE	COMPLETED	21 Sep 2022 19:07	21 Sep 2022 19:07
New York Hilton Midtown.docx	Machine Translation			0	0	US, FR, DE	COMPLETED	21 Sep 2022 19:07	21 Sep 2022 19:07
New York Hilton Midtown.docx	Translation Memory Matching			0	0	US, FR, DE	COMPLETED	21 Sep 2022 19:07	21 Sep 2022 19:07
New York Hilton Midtown.docx	Translation Memory Matching			0	0	US, FR, DE	COMPLETED	21 Sep 2022 19:07	21 Sep 2022 19:07
New York Hilton Midtown.docx	Copy Source to Target			0	0	US, FR, DE	COMPLETED	21 Sep 2022 19:07	21 Sep 2022 19:07
New York Hilton Midtown.docx	Document Content Analysis			0	0	US, FR, DE	COMPLETED	21 Sep 2022 19:07	21 Sep 2022 19:07
New York Hilton Midtown.docx	File Format Conversion			0	0	US, FR, DE	COMPLETED	21 Sep 2022 19:07	21 Sep 2022 19:07
New York Hilton Midtown.docx	File Paper Detection			0	0	US, FR, DE	COMPLETED	21 Sep 2022 19:07	21 Sep 2022 19:07

## ログファイル

### UI のログファイル

RWS Language Cloud アプリケーションのユーザーインターフェイス(UI) にアクセスするユーザーを対象としたログファイルが作成され、標準の NCSA 複合ログ形式で保存されます。下記は、ログエントリの例を示したものです。

```
10.228.144.254 - - [31/Jan/2022:03:08:14 +0000] "GET /lc/t/483384/dashboard HTTP/1.1" 200 14196 "-" "Mozilla/5.0 (X11; Linux x86_64) AppleWebKit/537.36 (KHTML, like Gecko) Chrome/87.0.4280.66 Safari/537.36" 761 14548 581839
```

ログファイルには次の情報が含まれています。

- **[host]** - リクエストを行うクライアントの IP アドレスまたはホスト/サブドメイン名
- **[rfc931]** - リクエストを行うクライアントの識別子
- **[username]** - クライアントが認証に使用したユーザー名
- **[date:time timezone]** - リクエストのタイムスタンプ
- **[request]** - リクエストされたリソース、メソッド、プロトコルバージョン
- **[statuscode]** - リクエストの結果
- **[bytes]** - 転送されたデータのバイト数
- **[referrer]** - サイトを訪問したユーザーがクリックしたリンク元の URL
- **[user\_agent]** - 訪問者が使用しているウェブブラウザとプラットフォーム
- **[cookies]** - ブラウザから渡される 1 つ以上の Cookie

## マイクロサービスのログファイル

各サービスでもログファイルが作成されます。API リクエストは、プラットフォームインバウンドエンドポイント (API ゲートウェイ) と各内部コンポーネント (サービス) の両方で記録されます。デバッグ情報もログに記録され、特定の行動のトレースに役立ちます。以下に例を示します。

```
2022-02-01 07:45:31,880 INFO [http-nio-8765-exec-5179] [e76eafec-506f-4645-b6b2-d163ba173379] [lc.api.gateway] [guest] c.s.l.l.a.g.w.RequestLoggingConfiguration$1 [RequestLoggingConfiguration.java:35] Incoming request [GET /gw-account-web/accounts/5ee8b4e27b56b01e50b71a82/settings?tenant=461371, client=10.228.60.25, headers=[host:"de1-lc-apigw.sdlproducts.com", accept:"*/*", authorization:"masked", x-lc-caller-app:"LCUI/2.2.9", x-lc-appsid:"masked"]]
```

```
2022-02-01 07:45:32,004 INFO [http-nio-8080-exec-74] [e76eafec-506f-4645-b6b2-d163ba173379] [lc.account.service] [5ee8b4e27b56b01e50b71a82] c.s.l.g.a.s.a.AccountServiceImpl [AccountServiceImpl.java:1484] getAccountSettings >> 5ee8b4e27b56b01e50b71a82
```

```
2022-02-01 07:45:32,011 DEBUG [http-nio-8080-exec-74] [e76eafec-506f-4645-b6b2-d163ba173379] [lc.account.service] [5ee8b4e27b56b01e50b71a82] c.s.l.g.a.s.r.SubscriptionRepositoryImpl [SubscriptionRepositoryImpl.java:191] There is no subscription in cache for accountId=5ee8b4e27b56b01e50b71a82 sandbox=true
```

## ログの監視と保存

デフォルトで、ログは一元管理されたロギングサーバーに 90 日間保持されます。基本的なログ監視が行われ、内部 API エラーが自動的に監視されます。エラー数が設定しきい値を超えた場合、アラートが内部の連携ツールに送信されます。



## ユーザーアカウントのセキュリティ

### RWS ID

RWS ID は当社のシングルサインオン (SSO) ソリューションで、Auth0 が提供するサードパーティ製 ID プラットフォームがベースになっています。Auth0 のセキュリティについて詳しくは、[auth0.com/security](https://auth0.com/security) をご覧ください。

### フェデレーション

RWS ID は、貴社の ID プロバイダとフェデレーション可能です。これにより、貴社の環境と同レベルのセキュリティを確保できます。フェデレーションは、LDAP、ADFS、Azure Active Directory、OpenID Connect、SAML など、さまざまなアクセスプロトコルを介して確立できます。

### 多要素認証

フェデレーションに代わる方法として多要素認証 (MFA) があり、これはドメインごとに実装できます。MFA は認証方式の 1 つで、ユーザーは認証メカニズムに対して次のような複数の証拠 (要素) を提示できなければアクセス権を得られません。その要素は次の 3 つのカテゴリに分類されます。

- 知識要素 (パスワードなど、そのユーザーが知っていること)
- 所有要素 (モバイルデバイスなど、そのユーザーが持っているもの)
- 生体要素 (指紋など、そのユーザーを示すもの)

### セッションタイムアウト

RWS Language Cloud でセッションが長時間非アクティブのままになっていると、自動的にタイムアウトします。ユーザーが作業を続行するには、再認証する必要があります。

### ユーザーの権限

RWS Language Cloud で、各ユーザーは 1 つ以上のユーザーグループに属します。各グループには特定の権限セットが設定されており (ロール)、これによって、グループのメンバーがどの組織構造レベルで、どの処理を実行できるのかが決まります。複数のグループに属するユーザーの権限は、各グループの権限をすべてまとめたスーパーセットを作成することで決定されます。



すべてのユーザーとグループを管理するのはアカウント管理者です。マネージドサービスをご利用のお客様については、RWS の担当者がその役目を果たし、ユーザーやグループを設定しますが、設定後、RWS の担当者がお客様のデータにアクセスすることはできません。また、当社の関与なしに、お客様がご自身でアカウントを管理することもできます。

**Jane Smith**

**First name \***  
Jane

**Last name \***  
Smith

**Email \***  
jsmith@translationsrus.com

**Location \***  
/Root

**Groups \***  
Project Managers x Administrators x Engineers x Terminologists x

**Domains**  
Manufacturing x IT x

### 独自のロール

RWS Language Cloud では、既定のロールのほかに、独自のロールを作成してグループに割り当てることができます。独自のロールを使用すると、カスタマイズした権限セットを設定でき、そのグループのメンバーが実行できるアクションを厳密に決定できます。

**New role**

**Name \***  
My Custom Role

**Description**  
A custom role for users of RWS Language Cloud

Projects Resources Customers Vendors User Management User Interface

Select all | Clear all

Projects	Quotes	Tasks	Files
<input checked="" type="checkbox"/> List	<input checked="" type="checkbox"/> View	<input type="checkbox"/> View	<input checked="" type="checkbox"/> View
<input checked="" type="checkbox"/> Create	<input checked="" type="checkbox"/> Edit	<input type="checkbox"/> Edit	<input type="checkbox"/> Create
<input checked="" type="checkbox"/> Edit		<input type="checkbox"/> Manages	<input type="checkbox"/> Download
<input type="checkbox"/> Delete		<input type="checkbox"/> Open in Studio	<input type="checkbox"/> Cancel
<input checked="" type="checkbox"/> Planning		<input checked="" type="checkbox"/> Open in Online Editor	
<input checked="" type="checkbox"/> Start			
<input type="checkbox"/> View Other Users Projects			
<input checked="" type="checkbox"/> View Details			
<input checked="" type="checkbox"/> View Project Notes			
<input checked="" type="checkbox"/> Edit Project Notes			
<input type="checkbox"/> Add Files to Existing Project			

Create Cancel



## 一般データ保護規則 (GDPR)

### アカウントの作成時に使用される PII

RWS Language Cloud には個人を特定可能な情報 (PII) と思われるユーザーデータが保存されますが、これらの情報を他のシステムで使用することはできません。RWS Language Cloud でユーザーを定義すると、それ以降は固有のユーザー ID 番号のみで判別されます。GDPR の規則に従い、ユーザーに関連付けられた PII は、リクエストに基づいて編集、エクスポート、削除が可能です。



### 翻訳用に送信されるコンテンツ内の PII

RWS Language Cloud では現在、データを匿名化または仮名化することはできません。そのため、必要に応じて、コンテンツを翻訳用に送信する前にこれを行う必要があります。

## 保存中の暗号化とセキュアプロジェクト

アプリケーションに存在するすべてのデータは、保存時に暗号化されます。ユーザーがプロジェクトをダウンロードしてオフラインで翻訳する場合、データは独自のシステムに保存され、暗号化は保証されなくなります。このリスクを軽減するために、RWS Language Cloud では「セキュア」プロジェクトを作成できます。これにより、翻訳者やレビューアがオフラインパッケージをダウンロードすることがなくなります。代わりに、これらのユーザーはブラウザベースの Online Editor で作業する必要があります。この機能を有効にすると、コンテンツはアプリケーションサーバーを離れることはなく、暗号化されたままになります。



## データセキュリティ



### データの分離

お客様のデータはすべて論理的に分離されるため、互いのデータを「参照」することはできません。また、開発環境とテスト環境は本番環境から切り離されており、共通のデータは存在しません。



### データのテスト

お客様が当社に特定の権限を与えない限り、お客様のデータがテスト環境や開発環境で使用されることは一切ありません。



### データの保管場所

RWS Language Cloud は現在、すべてのお客様のデータとともに、Amazon Web Services (AWS) Frankfurt にホストされています。

## ウイルス対策ソフトウェア

RWS Language Cloud にアップロードされたすべてのファイルは、ウイルス対策ソフトウェアによって自動的にスキャンされます。悪意のあるコンテンツが存在するとフラグが付けられたファイルは、ダウンロードがブロックされ、隔離されます。RWS Language Cloud では、これらのファイルを感染していないバージョンに置き換えることができます。



## ホスティング環境のセキュリティ

RWS Language Cloud は、RWS Cloud Operations によって SaaS (Software-as-a-Service) アプリケーションとしてホストされています。この部門はすべてのホスト型製品で ISO 27001 認定を取得しており、SOC 2 Type 2 認証の統制と方針に完全準拠しています。当社は、ISO 27017 を取得することで、クラウドサービスのセキュリティに関する専門性を高め、ニーズに合うセキュリティを追求してきました。

当社の製品は、サードパーティである AWS、NTT Communications、Alibaba Cloud などの大手サービスプロバイダによってホストされています。これらのサービスプロバイダはすべて、ISO 27001 認証や、SSAE 18 に準拠した定期的な SOC 1、SOC 2、SOC 3 監査の完了など複数のセキュリティ対策を維持しています。

ホスティングパートナーが採用しているセキュリティ対策に加え、RWS では次に関するポリシーや手順も定めています。



アクセス制御



データセキュリティ



物理的な保護



可用性と積極的な監視



論理的な保護



リスク評価



データバックアップ



### セキュリティツールと機能

RWS Cloud Operations は、さまざまなツールや機能も利用して、お客様のデータのセキュリティを確保しています。以下にその例を示します。

- ・ 異常検出機能を備えたイベント管理・監視ツール
- ・ 境界ファイアウォール、ウイルス対策ソフトウェア付きの統合型ネットワーク脅威防御 (NTP)
- ・ リアルタイムのイベント管理アクティビティをサポートする 24 時間年中無休の運用体制
- ・ 脅威を可視化する業界推奨ツール
- ・ 最先端の脆弱性診断・ペネトレーションテストツール
- ・ IT Infrastructure Library (ITIL) に準拠したインシデント管理用チケットツール

セキュリティに対する当社のアプローチについて詳しくは、[こちらをご覧ください](https://rws.com/jp/legal/security)  
[rws.com/jp/legal/security](https://rws.com/jp/legal/security)

当社のプライバシーポリシーについては、[こちらをご覧ください](https://rws.com/jp/legal/privacy)  
[rws.com/jp/legal/privacy](https://rws.com/jp/legal/privacy)

### RWS について

RWS Holdings plc は、テクノロジーを駆使した言語サービス、コンテンツサービス、知的財産サービスを提供する、唯一無二のリーディングプロバイダです。当社はコンテンツの変革と多言語データ分析を通じて、テクノロジーと文化に関する専門知識を独自に組み合わせ、お客様がどこでも、あらゆる言語で理解されるようにすることでビジネスの成長をサポートします。

当社が目指しているのは、グローバルな理解の実現です。文化の理解、企業の理解、技術の理解を組み合わせることにより、当社のサービスとテクノロジーが、顧客の獲得と維持、魅力的なユーザー体験の提供、コンプライアンスの維持、データやコンテンツにおける実用的なインサイトの獲得など、お客様をさまざまな面でサポートします。

当社のお客様には、世界の大手ブランド上位 100 社のうちの 90 社、製薬会社上位 20 社、大手特許事務所上位 20 社のうちの 19 社が含まれています。クライアントベースは、ヨーロッパ、アジア太平洋、北南米に広がっています。自動車、化学、金融、法律、医療、製薬、テクノロジー、電気通信の各分野を網羅しており、5 つの大陸に展開した 80 を超えるグローバル拠点からサービスを提供しています。

1958 年に設立された RWS は、英国に本社を置き、AIM、ロンドン証券取引所規制市場に上場されています (RWS.L)。

詳細については、[www.rws.com/jp/](https://www.rws.com/jp/) をご覧ください。

© 2022 All rights reserved. ここに記載されている情報は、RWS Group\* の機密情報および専有情報とみなされます。  
\* RWS Group とは、RWS Holdings PLC およびその関連会社および子会社の代表を意味します。